

横浜美術館

Yokohama Museum of Art

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel. 045-221-0300

Fax. 045-221-0317

<https://yokohama.art.museum>

●開館時間・休館日

10時～18時（入館は閉館の30分前まで）

木曜日、年末年始 休館

※開館時間・休館日は展覧会によって異なる場合がございます。

ウェブサイトまたは各展覧会チラシなどをご覧ください。

●観覧料

展覧会ごとに異なります。

●アクセス

電車

- みなとみらい線（東急東横線直通）「みなとみらい」駅〈3番出口〉から、マークイズみなとみらい〈グランドギャラリー〉経由徒歩3分
- JR（京浜東北・根岸線）・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から〈動く歩道〉を利用、徒歩10分

バス

- 桜木町駅バスターミナルから、市営バス「横浜美術館」下車

駐車場

- 収容台数：157台（屋内107台、屋外50台）
- バス駐車場：収容台数11台（大型7台、マイクロ4台）

●館内サービス／設備・アクセシビリティ

- トイレ：おむつ交換台、ベビーチェア、オストメイト、着替え台、多機能ベッド
- 授乳室：館内3か所（シンク・おむつ交換台・ベビーチェア・調乳器）
- ベビーカーと車椅子：展示室へご入場可能
- ほじょ犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）：ご入場可能

2026.3.31

© 2026 Yokohama Museum of Art

掲載画像の一部は著作権法にもとづき「サムネイル画像」を使用しております

横浜美術館コレクション

横浜が開港した19世紀後半から現代にかけての作品を幅広く所蔵しています。横浜にゆかりの深い作家の作品や、ダリ、ピカソ、マグリットをはじめとする世界的に評価の高い作家の作品など、関連資料も含め、その数は15,000点を超えます。（2025年3月現在）



ルネ・マグリット
《王様の美術館》1966年
油彩、カンヴァス／130.0×89.0 cm



ポール・セザンヌ
《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》1892-95年
油彩、カンヴァス／73.0×92.0 cm



片岡球子
《富士》1980年（昭和55年）
紙本着色／141.0×231.0 cm
日本石油精製株式会社横浜製油所 根岸製油所の寄附による購入



下村観山
《小倉山》1909年（明治42年）
絹本着色、六曲屏風一双／各 157.0×333.5 cm



長谷川潔
《草花とアカリヨム》1969年（昭和44年）
メゾチント／26.4×35.6 cm／ed. 40/80



スタニスラフ・リベンスキー、ヤロスラヴァ・プリフトヴァ
《アーチ雲》1991年
ガラス、鑄造、カット、研磨／76.0×100.0×10.0 cm



エリファレット・ブラウン・ジュニア
《遠藤又左衛門と従者》
1854年（嘉永7年）
ダゲレオタイプ／14.0×10.6 cm
重要文化財



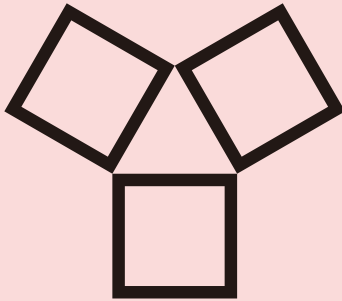
常盤とよ子
《流行歌の合唱》
1954年（昭和29年）（1988年のプリント）
ゼラチン・シルバー・プリント
49.8×32.7 cm



奈良美智
《春少女》2012年（平成24年）
アクリル絵具、カンヴァス／227.0×182.0 cm
© Yoshitomo Nara



イサム・ノグチ
《真夜中の太陽》1989年
赤と黒のスウェーデン産花崗岩／220.5×199.0×119.0 cm
© 2026 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS, New York/ JASPAR, Tokyo G4138



横浜美術館
YOKOHAMA
MUSEUM OF ART

みなとが、ひらく

美術館は、港のようだと思います。
どんな人も歓迎する。
来るもの、出るもの、多様な文化や価値観が交錯する。
今と過去と未来を中継する。
バリアもボーダーも飛び越えていく。
そして、世界にひらかれた港町の美術館として
歩んできた私たちは、さらに思うのです。

ここに訪れるすべてのあなたもまた、港なのだと。
自由な出会い。豊かなまなび。自分らしくいられる時間。
みて、つくって、まなんで。
見晴らしのいい気分で、未来へ針路をとるために。
たとえ時代が変わっても、今日という暮らしのそばで
横浜美術館は、あなたという港がひらく場でありたいと思います。



グランドギャラリー

5つの願い

1. 誰もが尊重され、自分らしくいられる場でありますように
2. 人、もの、考えとの新たな出会いの場でありますように
3. 今日を生きるよろこびを感じる場でありますように
4. このよろこびが、美術館から街へと広がりますように
5. ひとりと、地域と、世界がつながる場となりますように



外観



まるまるラウンジ



くつぬぎスポット



大階段



大階段



3Fギャラリー前



ギャラリー 8

じゅうエリア

横浜美術館を象徴する大空間「グランドギャラリー」を中心とする無料エリアは、より自由でひらかれたエリアです。美術図書室、ミュージアムショップ、カフェなどもあり、展覧会を見ない方でもぶらりと訪れて、だれもが思い思いに過ごせます。



ガラス張りの天井



カフェ



ミュージアムショップ



ギャラリー 9



美術図書室

●建築概要

開館：1989年11月3日
設計：丹下健三・都市・建築設計研究所（完成当時）
敷地面積：19,803㎡
建築面積：9,621㎡
延床面積：27,014㎡
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造8階建（一部3階建）
外壁：花崗岩ジェットバーナー仕上げ

●施設基本データ（床面積等）

ギャラリー 1（443.32㎡、天井高5.03m）
ギャラリー 2（169.05㎡、天井高11.59m）
ギャラリー 3（527.40㎡、天井高5.03m）
ギャラリー 4（527.40㎡、天井高5.03m）
ギャラリー 5（230.58㎡、天井高11.59m）
ギャラリー 6（443.32㎡、天井高5.03m）
ギャラリー 7（277.14㎡、天井高3.64m）
ギャラリー 8（173.40㎡、天井高3.21m）
ギャラリー 9（93.38㎡、天井高3.64m）

撮影：新津保秀

展覧会

企画展

バラエティに富んだ内容で年間3本程度の企画展を開催しています。

コレクション展

15,000点を超える横浜美術館所蔵作品による展覧会です。毎回テーマを設定し、年間2～3回の展示替えをしながら、横浜美術館コレクションの魅力をご紹介しています。

アーティストとひらく

新進アーティストと一緒に、これからの美術、これからの美術館の可能性について考え、試行錯誤をする場として実施される年1回のプログラムです。

横浜トリエンナーレ

横浜トリエンナーレは、横浜市内で3年に1度開催する現代アートの国際展です。



企画展「おかえり、ヨコハマ」(2025) 展示風景



第8回横浜トリエンナーレ 展示風景

撮影：富田了平 写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会

教育普及

子どものアトリエ

小学校6年生（12歳）までの子どもたちを対象に、ひろびろとした空間での「描く・つくる・みる」体験を通して、美術に親しみながら創造力を育むプログラムを行っています。

市民のアトリエ

12歳以上の方を対象に、アーティストやエドゥケーターによる様々な創作体験プログラムを開催しています。専門設備の整った3つの部屋「版画室」「平面室」「立体室」があります。

鑑賞プログラム

子どもから大人まで、障がいの有無にかかわらず誰もが美術を身近に楽しむために、企画展・コレクション展での鑑賞会やギャラリートークなど様々なプログラムを実施しています。



子どものアトリエ



市民のアトリエ